



原子力人材育成研修 入門研修(高校生向け)を実施しました

令和5年12月14日、15日、18日、26日、令和6年1月11日、2月6日の6日間、「原子力人材育成研修」の一環として、『入門研修(高校生向け)』を実施しました。

本研修は、原子力人材の確保・育成の観点から、原子力発電に対する興味・関心および原子力系学部への進学や原子力関連企業への就職意欲を高めることを目的として、福井県内の高校生および教職員を対象に本年度から新たに開始した研修であり、本年度は、美方高校、藤島高校、敦賀工業高校から、生徒および教職員180名が参加しました。各高校から興味のある研修内容を選択いただき、希望日に原子力発電所等の見学、原子力発電・各発電方法・福井県嶺南Eコースト計画に関する講義、事前課題の検討・発表を行いました。

参加した生徒からは、「今まで知らなかった原子力や発電所に関する知識を新たに知ることができた」、「普段では体験できないことができたことで今後の人生や進路選択の参考になった」、また、参加した教職員からは、「地元の産業やエネルギー分野への理解を深めることにとっても役に立った、来年度以降も継続して研修を受講させていただきたい」、「有意義な研修であった、引率した私(教諭)自身も大変勉強になった」などの感想が寄せられました。



エルガイアおおい見学(美方高校)



事前課題の検討・発表(藤島高校)



大飯発電所ビジターハウス見学(敦賀工業高校)

ポーランド原子力事業会社向けに研修を実施しました

令和6年1月29日から2月9日まで、一般社団法人原子力国際協力センター(JIICC)からの請負で『原子力安全、放射線安全管理訓練コース』を実施し、原子力発電の導入を計画しているポーランド原子力事業会社(PEJ社)から放射線防護や許認可、建設など様々な部署の15名が参加しました。

今回のコースでは、日本の原子力規制、PWR(加圧水型原子炉)の安全設計、原子力発電所の建設、プラントの保守等の講義を受け、県内の原子力発電所、福井県原子力環境監視センター、福井県敦賀原子力防災センター、三菱重工業神戸造船所の見学、日本原子力発電敦賀総合研修センターにおいて原子炉運転シミュレータの実習を行いました。

参加者からは、「東京電力福島第一原子力発電所事故を踏まえて新しい規制基準を設定し、事業者においても様々な対策が取られていることがとても印象に残った」、「講義や施設見学が良い割合で構成されていて、よく考えられたコースだった」などの感想が寄せられました。



集合写真



講義の様子



原子炉運転シミュレータの実習

IAEA ANSN ワークショップを開催しました

令和6年2月19日から23日まで、国際原子力機関（IAEA）、福井県とエネ研の共催で、『ANSNリスク情報を活用した統合的意思決定に関するワークショップ』を開催し、アジア、中東、アフリカから13か国17名の研修生とIAEA、アメリカ、スイスから4名の講師が参加しました。

本研修では、原子力施設の安全を維持・向上させていくために、既に実施した安全対策にとどまらず、リスクとなる情報を活用して有効な対策を講じる取組みが必要であることから、そのための枠組みとして取り入れるべきリスク情報を活用した意思決定（IRIDM）について、設計、運転、許認可、規制など様々な段階・状況ごとに専門家からの講義やグループワーク、福井県内の原子力関連施設として福井県敦賀原子力防災センターの見学を行いました。

参加者からは、「貴重な知識を得ることができた、今回学んだ内容を自分の組織で広めたい」などの感想が寄せられました。



エネ研の水素研究について紹介しました

令和6年2月29日、一般社団法人ふくい水素エネルギー協議会が主催する『水素社会構築に向けた製品開発と福井県内での取り組み』と題した講演会がエネ研で開催され、県内企業など25社約40名が参加されました。

講演会では、デンヨー株式会社の水素燃料エンジン発電機の開発等、県内企業の取組みが紹介されるとともに、エネ研の石神主幹研究員が「ナノ構造化を活用した新規水素貯蔵材の開発」と題しエネ研の水素研究について紹介しました。

この研究は、現状の水素貯蔵材（合金）の水素の吸・放出時に高温・高圧が必要、単位重量当たり水素貯蔵量が少ないといった課題の解決を目指し、低温、常圧、軽量で、法的制約が少なく、吸蔵量が飛躍的に向上した水素貯蔵材を開発するものです。このため水素と金属の化学的結合に加え、新たに金属の結晶中にナノ構造（ナノスケールの乱れ）を導入し物理的結合を利用した水素貯蔵材の開発を進めており、これまでに得られた研究成果を紹介しました。

参加者は各講演に熱心に耳を傾け、活発な意見交換や情報交換が行われました。



本誌を読まれての御感想、御意見を下記担当あてお寄せください。

住所:〒914-0192 福井県敦賀市長谷64号52番地1

E-mail:kikakushien@werc.or.jp

TEL:0770-24-7273 FAX:0770-24-7275

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当

